

- 市の生涯学習の拠点とすべく  
エリアとして複数の公共施設を一体的に再生
- 8施設（7建物）の機能を保ちながら、  
3建物に統廃合し集約
- 新築と躯体活用型建替（リノベーション）を  
あわせて実施
- 施設の整備及び維持管理運営にPFI手法を導入  
（民間活力の導入による効率化）
- 定期借地権を設定し民間の提案による事業を実施  
（公有資産の有効活用）
- 市民の利便性を高める事業（民間収益事業）を併設  
（財政負担の軽減）

複合的に実施

### **基本理念** 持続可能な文教住宅都市の実現

生涯学習の拠点機能を拡充するとともに、地域の活性化も図ります。

### **大久保地区公共施設再生事業の目的**

1. 将来世代に過度な負担をさせることなく、時代の変化に対応した**公共サービスを継続的に提供**する。
2. **多世代が交流し、地域コミュニティが活性化**する場をつくる。
3. 市民協働・官民連携で**賑わいを創出**する。



### **大久保地区公共施設再生事業の目標**

1. 対象施設の機能を集約し、全ての習志野市民のための**生涯学習の拠点**をつくる。
2. 民間活力を導入することで、**維持管理・運営コストを削減**するとともに、**多様なサービスを提供**する。
3. 躯体活用型建替（リノベーション）や官民連携により、**初期費用を抑制**する。

## 6. 対象施設

8施設（7建物）の機能を保ちながら、中央公園周辺の3建物に集約



1977（昭和52）  
屋敷公民館



1968（昭和43）  
生涯学習地区センター  
ゆうゆう館



1992（平成4）  
藤崎図書館



1975（昭和50）  
あづまこども会館



新 1966（昭和41）  
新大久保公民館・市民会館

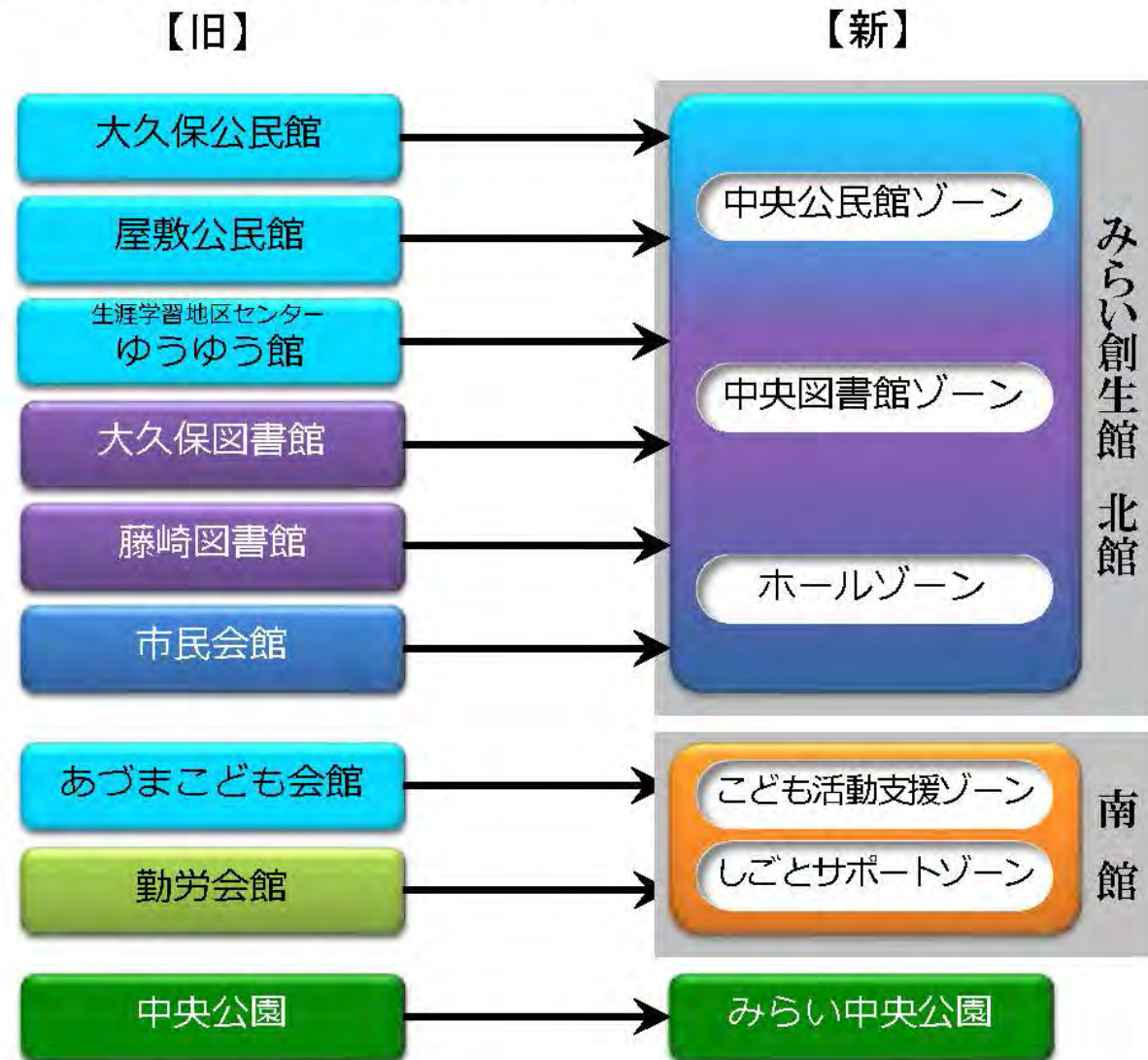


1980（昭和55）  
大久保図書館



1974（昭和49）  
勤労会館

機能の集約によって創生する交流拠点に



※名称はすべて仮称